

Devotional Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2020.3.30-4.5

But grow in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

①お互いへの感謝と讃めることを分かちましょう。（2～3つ）

②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。

③礼拝メッセージの分かち合いをします。

礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）

④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチヤンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれません、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でのいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または讃めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要なために祈りましょう。

30日 月曜

申命記

3:12 この地を、私たちは、そのとき、占領した。アルノン川のほとりのアロエルの一部と、ギラアデの山地の半分と、その町々と私はルベン人とガド人とに与えた。

3:13 ギラアデの残りと、オグの王国であつたバシヤンの全土とは、マナセの半部族に与えた。それはアルゴブの全地域で、そのバシヤンの全土はレファイムの国と呼ばれている。

3:14 マナセの子ヤイルは、ゲシュル人とマアカ人との境界までのアルゴブの全地域を取り、自分の名にちなんで、バシヤンをハボテ・ヤイルと名づけて、今日に至っている。

3:15 マキルには私はギラアデを与えた。

3:16 ルベン人とガド人には、ギラアデからアルノン川の、国境にあたる川の真中まで、またアモン人の国境ヤボク川までを与えた。

3:17 またアラバをも与えた。それはヨルダンを境界として、キネレテからアラバの海、すなわち、東のほうのピスガの傾斜地のふもとにある塩の海までであった。

3:18 私はそのとき、あなたがたに命じて言った。「あなたがたの神、主は、あなたがたがこの地を所有するように、あなたがたに与えられた。しかし、勇士たちはみな武装して、同族、イスラエル人の先に立って渡って行かなければならない。

3:19 ただし、あなたがたの妻と子どもと家畜は、私が与えた町々にとどまっていてよい。私はあなたがたが家畜を多く持っているのを知っている。

3:20 主があなたがたと同じように、あなたがたの同族に安住の地を与え、彼らもまた、ヨルダンの向こうで、あなたがたの神、主が与



聖書の記述

えようとしておられる地を所有するようになったなら、そのとき、あなたがたは、おのおの私が与えた自分の所有地に帰ることができます。」

3:21 私は、そのとき、ヨシュアに命じて言った。「あなたは、あなたがたの神、主が、これらふたりの王になさったすべてのことをその目で見た。主はあなたがたがこれから渡って行くすべての国々にも、同じようにされる。」

3:22 彼らを恐れてはならない。あなたがたのために戦われるるのはあなたがたの神、主であるからだ。」

く違います。これまでの、または今の自分自身の判断を省みてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

「アルノン川のほとりのアロエルの一部と、ギラアデの山地の半分と、その町々…」というのは、ヨルダン川の東側です。すなわち約束の地の手前ということです。それらの地を、ルベン人とガド人そしてマナセの反部族にモーセは与えました。本當はイスラエルの全部族がヨルダン川を渡り、約束の地にいくべきでしたが、彼らは家畜を多く持っていて、川を渡るよりも手前で定住したかったです。

モーセはそれを許可しました。ただし条件があり、「勇士たちはみな武装して、同族、イスラエル人の先に立って渡って」行って共に戦わなければならぬということです。

この2部族と半部族は、手前に定住するのが最善と考えたのですが、その後彼らはしばしば外敵の来襲を受けて、その度に他の部族に助けてもらわなくてはならなくなってしまったのです。

主の約束を受けていながら、中途半端にしか従わないで、将来に問題を抱え込むことはよくある不従順です。このモーセの判断のように、許可が与えられているからと言って、それが最善とは限りません。主に従うなら勝利への良き戦いになりますが、不従順から起きたことは尻拭いです。全

④この世にあって何を実践しますか？



31日 火曜

申命記

3:23 私は、そのとき、主に懇願して言った。
3:24 「神、主よ。あなたの偉大さと、あなたの力強い御手とを、あなたはこのしもべに示し始められました。あなたのわざ、あなたの力あるわざのようなことのできる神が、天、あるいは地にあるでしょうか。」

3:25 どうか、私に、渡って行って、ヨルダンの向こうにある良い地、あの良い山地、およびレバノンを見させてください。」

3:26 しかし主は、あなたがたのために私を怒り、私の願いを聞き入れてくださらなかつた。そして主は私に言われた。「もう十分だ。このことについては、もう二度とわたしに言つてはならない。」

3:27 ピスガの頂に登って、目を上げて西、北、南、東を見よ。あなたの目のよく見よ。あなたはこのヨルダンを渡ることができないからだ。

3:28 ヨシュアに命じ、彼を力づけ、彼を励ませ。彼はこの民の先に立って渡って行き、あなたの見るあの地を彼らに受け継がせるであろう。」

3:29 こうして私たちはベテ・ペオルの近くの谷にとどまっていた。

カデシュという土地でイスラエルの民がモーセに、水がないと不平を訴えました。神様は杖を用いて岩に命ずれば水が出ると言われましたが、モーセは民に怒りを表わし、腹立ち紛れに岩をたたいたのです。神様はその行為について、”わたし（神）をイスラエルの人々の前に聖なる者としなかつた。”と言われました。神の憐れみを怒りに変えて表わしたのだから当然です。

のことからも大いに教えられます。私たちも御心ならどんな表現をしても良いと思うがちですが、



聖書の記述

そうではありません。どのようなことばを使い、どのような話し方や表情であるかが、神様を表わすからです。少なくとも聞く人はそれを感じます。

モーセはこのことで、約束に地には入れないことになつてしましました。そこで彼はもう一度懇願するのですが、「このことについては、もう二度とわたしに言ってはならない。」と主に言われてしまいました。

さらに主は「ヨシュアに命じ、彼を力づけ、彼を励ませ。彼はこの民の先に立って渡って行き、あなたの見るあの地を彼らに受け継がせるであろう。」とおっしゃったのです。人間的に考えれば、これまで苦労したモーセがかわいそうと思えなくもないでしょう。しかしモーセはそれを受け入れました。そして約束の地に入る前に自分がいなくなることを知って、民に語り聞かせているのです。

彼はこれまでのわざが自分の力ではなく主によるものであることを知っていたのでしょう。人は主のわざを忘れるとき、見苦しい言動をとってしまうことがあります。またモーセは自分に対して主がこれからも良き方であると信じていたでしょう。すべての報いが主からきます。このようなモーセを模範としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 水曜

申命記

4:1 今、イスラエルよ。あなたがたが行なうように私の教えるおきてと定めとを聞きなさい。そうすれば、あなたがたは生き、あなたがたの父祖の神、主が、あなたがたに与えようとしておられる地を所有することができます。

4:2 私があなたがたに命じることばに、つけ加えてはならない。また、減らしてはならない。私があなたがたに命じる、あなたがたの神、主の命令を、守らなければならない。

4:3 あなたがたは、主がバアル・ペオルのことわざったことを、その目で見た。バアル・ペオルに従つた者はみな、あなたの神、主があなたのうちから根絶やしにされた。

4:4 しかし、あなたがたの神、主にすがつてきたあなたがたはみな、きょう、生きている。

4:5 見なさい。私は、私の神、主が私に命じられたとおりに、おきてと定めとをあなたがたに教えた。あなたがたが、はいって行って、所有しようとしているその地の真中で、そのように行なうためである。

4:6 これを守り行ないなさい。そうすれば、それは国々の民に、あなたがたの知恵と悟りを示すことになり、これらすべてのおきてを聞く彼らは、「この偉大な国民は、確かに知恵のある、悟りのある民だ。」と言うであろう。

4:7 まことに、私たちの神、主は、私たちが呼ばれるとき、いつも、近くにおられる。このような神を持つ偉大な国民が、どこにあるだろうか。

4:8 また、きょう、私があなたがたの前に与えようとしている、このみおしえのすべての



聖書の記述

ように、正しいおきてと定めとを持つている偉大な国民が、いったい、どこにあるだろう。

4:9 ただ、あなたは、ひたすら慎み、用心深くありなさい。あなたが自分の目で見たことを忘れず、一生の間、それらがあなたの心から離れることのないようにしなさい。あなたはそれらを、あなたの子どもや孫たちに知らせなさい。

4:10 あなたがホレブで、あなたの神、主の前に立った日に、主は私に仰せられた。

「民をわたしのもとに集めよ。わたしは彼らにわたしのことばを聞かせよう。それによつて彼らが地上に生きている日の間、わたしを恐れることを学び、また彼らがその子どもたちに教えることができるようにな。」

4:11 そこであなたがたは近づいて来て、山のふもとに立つた。山は激しく燃え立ち、火は中天に達し、雲と暗やみの暗黒とがあった。

4:12 主は火の中から、あなたがたに語られた。あなたがたはことばの声を聞いたが、御姿は見なかつた。御声だけであつた。

4:13 主はご自分の契約をあなたがたに告げて、それを行なうように命じられた。十のことばである。主はそれを二枚の石の板に書きしるされた。

4:14 主は、そのとき、あなたがたにおきてと定めとを教えるように、私に命じられた。あなたがたが、渡つて行って、所有しようとしている地で、それらを行なうためであつた。

約束の地に入るにあたつて、何よりも一番の命

令は「（主の）おきてと定めとを聞きなさい。そうすれば…所有することができる。」ということです。主への従順と希望は一体なのです。

その律法は「…火の中から」与えられたもので、主の権威によるものです。主に全権があることを認め、主に従い、人間の勝手な思い込みではない、神様からの確かな希望をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



4:15 あなたがたは十分に気をつけなさい。主がホレブで火の中からあなたがたに話しかけられた日に、あなたがたは何の姿も見なかつたからである。

4:16 境落して、自分たちのために、どんな形の影像をも造らないようにしなさい。男の形も女の形も。

4:17 地上のどんな家畜の形も、空を飛ぶどんな鳥の形も、

4:18 地をはうどんなものの形も、地の下の水の中にいるどんな魚の形も。

4:19 また、天に目を上げて、日、月、星の天の万象を見るとき、魅せられてそれらを拝み、それらに仕えないようにしなさい。それらのものは、あなたの神、主が全天下の国々の民に分け与えられたものである。

4:20 主はあなたがたを取って、鉄の炉エジプトから連れ出し、今日のように、ご自分の所有の民とされた。

4:21 しかし、主は、あなたがたのことで私を怒り、私はヨルダンを渡れず、またあなたの神、主が相続地としてあなたに与えようとしておられる良い地にはいることができないと誓われた。

4:22 私は、この地で、死ななければならぬ。私はヨルダンを渡ることができない。しかしあなたがたは渡つて、あの良い地を所有しようとしている。

4:23 気をつけて、あなたがたの神、主があなたがたと結ばれた契約を忘ることのないようにしなさい。あなたの神、主の命令にそむいて、どんな形の影像をも造ることのないようにしなさい。



4:24 あなたの神、主は焼き尽くす火、ねたむ神だからである。

約束の地に入るにあたって、もう一度おしえらるべきことは、主の命令を守ることです。その中でも強調されるべきことは、偶像礼拝から遠ざかるということです。そのための形を造ることさえしてはならないと言われます。また天の万象も拝むなど言われます。

モーセでさえも「ヨルダンを渡れず、…良い地に入ることができない」とされました。ならばそこに住める人々は何という幸いであるかが分かります。同じように、天国という約束に地に行けること、また地上でも主の約束があるということは、何という幸いでしょうか。ならば私たちは、主の恵に答えるためにも、愚かな偶像礼拝を遠ざけていきましょう。

今のあなたにとっては、神よりも大切にしてしまっている偶像は何でしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 金曜

申命記

4:25 あなたが子を生み、孫を得、あなたがたがその地に永住し、墮落して、何かの形に刻んだ像を造り、あなたの神、主の目の前に悪を行ない、御怒りを買うようなことがあれば、

4:26 私は、きょう、あなたがたに対して、天と地とを証人に立てる。あなたがたは、ヨルダンを渡つて、所有しようとしているその土地から、たちまちにして滅びうせる。そこで長く生きるどころか、すっかり根絶やしにされるだろう。

4:27 主はあなたがたを国々の民の中に散らされる。しかし、ごくわずかな者たちが、主の追いやる国々の中に残される。

4:28 あなたがたはそこで、人間の手で造った、見ることも、聞くこともせず、食べることも、かぐこともしない木や石の神々に仕える。

4:29 そこから、あなたがたは、あなたの神、主を慕い求め、主に会う。あなたが、心を尽くし、精神を尽くして切に求めるようになるからである。

4:30 あなたの苦しみのうちにあって、これまでのことが後の日に、あなたに臨むなら、あなたは、あなたの神、主に立ち返り、御声に聞き従うのである。

4:31 あなたの神、主は、あわれみ深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、あなたの先祖たちに誓った契約を忘れない。

さらにモーセは、偶像礼拝の結果についての警戒を語っています。偶像礼拝をするために何を造つても、「たちまちにして滅びうせる。…すっかり根絶やしにされる。」ということです。

しかしながら、モーセは民の中には従わない者も多



聖書の記述

いと知っているようでした。彼は「主はあなたがたを国々の民の中に散らされる。」と予想しています。しかし、「ごくわずかな者たちが、主の追いやる国々の中に残される。」というように、主に従う者たちもいるとも予想しています。主に従う者が国の希望なのです。

そのようにモーセは、「あなたは、あなたの神、主に立ち返り、御声に聞き従うのである。」という将来を語りつつ、その結果の希望として、「あなたの神、主は、あわれみ深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず…」と宣言しています。

それは主が、「先祖たちに誓った契約を忘れない。」というように憐れみ深い方だからです。私たちも主に従いきれない時があるかもしれません、そのようなときは直ぐに悔い改めて、主の憐れみをいただけるようにしましょう。主の約束をいただき、それを握りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 土曜

申命記

4:32 さあ、あなたより前の過ぎ去った時代に尋ねてみるがよい。神が地上に人を造られた日からこのかた、天のこの果てからかの果てまでに、これほど偉大なことが起つたであろうか。このようなことが聞かれたであろうか。

4:33 あなたのように、火の中から語られる神の声を聞いて、なお生きていた民があつただろうか。

4:34 あるいは、あなたがたの神、主が、エジプトにおいてあなたの目の前で、あなたがたのためになさつたように、試みと、しるしと、不思議と、戦いと、力強い御手と、伸べられた腕と、恐ろしい力とをもって、一つの国民を他の国民の中から取つて、あえてご自身のものとされた神があつたであろうか。

4:35 あなたにこのことが示されたのは、主だけが神であつて、ほかには神はないことを、あなたが知るためであった。

4:36 主はあなたを訓練するため、天から御声を聞かせ、地の上では、大きい火を見させた。その火の中からあなたは、みことばを聞いた。

4:37 主は、あなたの先祖たちを愛して、その後の子孫を選んでおられたので、主ご自身が大いなる力をもつて、あなたをエジプトから連れ出された。

4:38 それはあなたよりも大きく、強い国々を、あなたの前から追い払い、あなたを彼らの地にはいらせ、これを相続地としてあなたに与えるためであった。今日のとおりである。

4:39 きょう、あなたは、上は天、下は地において、主だけが神であり、ほかに神はないことを知り、心に留めなさい。



聖書の記述

4:40 きょう、私が命じておいた主のおきてと命令とを守りなさい。あなたも、あなたの後の子孫も、しあわせになり、あなたの神、主が永久にあなたに与えようとしておられる地で、あなたが長く生き続けるためである。

モーセの説教の始めの部分が、この結論でまとめられています。

主の命令を守るにあたって、その主がいかに力ある特別な方であるかが語られます。その内容は「火の中から語られ」たということ、エジプトから民を救い出されたこと、そしてその「不思議」なみわざです。

それは「主だけが神であつて、ほかには神はないことを、あなたが知るため」であり、また「あなたを訓練するため」です。主は私たちの人生にも、偉大さを知らしめて訓練を与えてくださいま

す。

私たちも、「あなたの後の子孫も、しあわせになり、あなたの神、主が永久にあなたに与えようとしておられる地で、あなたが長く生き続けるため」という主の愛の目的を感謝して、受けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4:41 それからモーセは、ヨルダンの向こうの地に三つの町を取り分けた。東のほうである。

4:42 以前から憎んでいなかった隣人を知らずに殺した殺人者が、そこへ、のがれることのできるためである。その者はこれらの町の一つにのがれて、生きのびることができる。

4:43 ルベン人に属する高地の荒野にあるベツエル、ガド人に属するギリアデのラモテ、マナセ人に属するバシヤンのゴランである。

4:44 これはモーセがイスラエル人の前に置いたみおしえである。

4:45 これはさとしとおきてと定めてあって、イスラエル人がエジプトを出たとき、モーセが彼らに告げたのである。

4:46 そこは、ヨルダンの向こうの地、エモリ人の王シホンの国のペテ・ペオルの前の谷であつた。シホンはヘシュボンに住んでいたが、モーセとイスラエル人が、エジプトから出来たとき、彼を打ち殺した。

4:47 彼らは、シホンの国とバシヤンの王オグの国とを占領した。このふたりのエモリ人の王はヨルダンの向こうの地、東のほうにいた。

4:48 それはアルノン川の縁にあるアロエルからシーオン山、すなわちヘルモンまで、

4:49 また、ヨルダンの向こうの地、東の、アラバの全部、ピスガの傾斜地のふもとのアラバの海までである。

41~49 節には挿入のように、”のがれの町”について書かれています。信仰生活の基本が愛であり、社会の基本が平和であることを考えると、このような場所があることによって、赦しへの道筋が与えられて不要な復讐がなくなると考えられます。それは



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

